

横浜港の夜景を楽しみながら
ウクライナ避難民の皆様と
市民の皆様が交流する
「ウクライナ交流クルーズ」
を実施します！

2022年11月18日
説明資料

横浜市のウクライナ避難民支援

オール横浜 支援パッケージ



一時滞在施設提供

- ✓ 来浜直後 2～3 週間程度
- ✓ 一時滞在用の施設（食事付）



生活スタート支援

- ✓ 在留資格変更・区役所窓口手続
- ✓ 銀行口座開設、SIMカード取得
- ✓ スマートフォンを1年間無償貸与



医療サービス

- ✓ 医療ニーズの把握
- ✓ 必要な医療サービスへの繋ぎ



生活に係る費用

- ✓ 日本財団様の御支援を御案内
 - ・ 生活費 一人100万円/年
(分割支給、1家族300万円/年を上限)
 - ・ 住環境整備費 一戸一律50万円



住居・家具・家電

- ✓ 市営住宅を1年間無償提供
(家具・家電等整備)
- ✓ 民間の賃貸住宅等をご案内



日常生活の支援

- ✓ 生活用品や食品の提供
- ✓ 就労を希望する方への支援
- ✓ 弁護士による法律相談



就学・日本語支援

- ✓ 小中学校への就学支援
- ✓ 無償を基本とした就学援助
- ✓ 日本語指導等による学習支援
- ✓ 日本語教室・通訳翻訳機の提供



ウクライナ交流 カフェ

- ✓ ウクライナ避難民等の交流拠点
- ✓ 企業等の皆様による支援を繋ぐ

協力
(五十音順、敬称略)

APAMAN ㈱、神奈川県行政書士会、神奈川県弁護士会、JICA横浜、Japan Immigration Lawyers Association (JILA)
ウクライナ避難民支援チーム、(公財)日本財団、㈱ノジマ、ハローワーク横浜、松浦企業㈱、(公財)横浜国際交流協会 (YOKE)、
横浜桜木町ワシントンホテル、横浜商工会議所、(公財)横浜YMCA、㈱レオパレス21、その他 市民・市内企業等の皆様等

これまでのウクライナ避難民の皆様との交流



ウクライナ交流カフェ「ドゥルーズィ」
を開設（4月）



オデーサ市の柔道クラブの子どもたち
への柔道教室の開催（8月）



大相撲の観戦・力士との交流（10月）

「ウクライナ交流クルーズ」の目的

- ウクライナ避難民の皆様には横浜への親しみを持ってもらいたい
- 市民の皆様にはウクライナ支援に一層の関心を持っていただき、支援の輪の拡大につなげる

➡ ウクライナ避難民の皆様と市民の皆様との、船上交流イベントを実施



「ウクライナ交流クルーズ」概要

- 日時 令和4年12月17日（土）
18:45～20:15（乗船時間 90分）
- コース 横浜駅東口発
～京浜運河～新港心頭付近
～横浜駅東口着
- 内容 港内見学（通訳あり）
ウクライナ語ミニ教室、
じゃんけん大会など
- 募集対象 ウクライナ支援に関心がある
市内在住・在勤・在学の方 20人
（応募多数の場合は抽選）

